

良質で安全な医療を実践するため、医療従事者の労働時間短縮等により業務負担を軽減する取組や勤務環境の改善を行っています。				
・医師や看護師等のタスクシェア／シフトによる業務負担軽減				
・子育て・介護を行う職員への支援				
・処遇改善				
聖霊病院における医師及び医療関係職と事務職員等との役割分担計画（2025年度）				
医師と事務職員との役割分担				
	外来診療補助	外来受付	患者に初診時間診票の記載依頼を外来の事務職員が行い、業務の効率化を図る。	
		診療録、処方箋作成	研修を受けた医療クラークが医師の診察時に同席し、口述内容を電子カルテに代行入力し処方箋作成の補助を行う（整形外科、内科、眼科で実施）。医師は内容を確認し承認する。	
		診療予約	紹介患者にかかわる予約入力と逆紹介時の予約業務は事務職員が行う。	
	書類作成	意見書、診断書、保険書類の作成補助	医療事務作業補助者を配置し、患者基本情報他記載可能な部分を記入後に担当医師に確認依頼を行う。	
		入院サマリー	医師の依頼にて医療事務作業補助者が代行記載、医師は内容を確認し承認する（整形外科、消化器内科、緩和ケア科にて実施）。	
		情報提供書	医師の口述を医療事務作業補助者が代行記載、医師は内容を確認し承認する（歯科口腔外科にて実施）。	
	データベース作成		医師事務作業補助者がJOANR（整形外科手術データ登録）、FFNJ（大腿骨近位部骨折データベース）、周産期医療統計、麻酔科データベースの入力を行う。医療情報課が救急統計、がん登録の入力を行う。	
医師と看護師等医療職との役割分担				
	外来診療補助	初診時の予診	外来看護師が問診票を用いて予診を実施し、既往歴、アレルギー歴、薬歴を含めた聴取を行う。	
		救急外来におけるトリアージ	救急外来の看護師は医師に先立ち救急患者のバイタルサインをチェックし、診察の優先順位を決定する。	
		検査手順説明	外来看護師が医師に代わって予定検査の手順の説明を行う。	
		入院説明	入院患者（予定手術・検査入院）に対して、入院支援看護師、または外来看護師が医師に代わって入院についての説明を行う。緊急入院患者に対しては医師の説明を補う形で追加説明を行う。	
	静脈注射および留置針によるルート確保		技術研修を修了した看護師が医師に代わって静脈注射および末梢静脈ルート確保を行う。	
	薬剤の投与量の調整		医師による事前の指示に基づき、その範囲内で投与薬剤の調節を行う。判断が困難な場合は医師に連絡し指示を仰ぐ。	
	指導	認定看護師による指導	認定看護師が外来・病棟からの要請に応え、医師に先立ち患者の状態を把握、医師に報告するとともに自ら指導、サポートを行う。	
周産期・新生児に対する指導		医師に代わり助産師が助産、産褥婦、新生児の保健指導を行う。母乳外来で母乳育児のサポートも行う。		
医師・看護師と薬剤師との役割分担				
	服薬指導・薬剤管理	外来服薬指導	外来院内処方患者に対し、医師に説明を補足して、薬剤師が服薬指導を行う。 麻薬、抗がん剤に関して、薬剤師から服薬指導を行う。	
		処方オーダー	処方オーダーを代行入力する。 疑義照会簡素化プロトコルを作成する。	
		病棟薬剤師の配置	病棟薬剤師は入院患者の持参薬の鑑別と服薬状況を聴取し医師に情報提供する。 入院中は定期的に副作用のチェックと服薬状況の確認を行う。 退院時には薬剤師が服薬指導を行う。 中心静脈点滴、抗がん剤、注射用カリウムのミキシングは薬剤師が行う。 TDMIに基づいた抗菌薬の投与量を医師に提案する（バンコマイシン、テイコプラニン等）。	
	抗がん剤の管理		化学療法担当の薬剤師が患者の病態変化に応じた抗がん剤の投与量を設定、それに従って医師はレジメン調整を行う。	
		手術前休止薬の鑑別	予定手術の患者の持参薬を薬剤師が鑑別し、薬剤名・休業日数・薬剤情報について医師へ情報提供を行う。	
	臨床検査技師との役割分担			
	静脈採血	研修を修了した臨床検査技師が採血室で外来患者の採血を実施する。		
	内視鏡検査	消化器内視鏡検査技師の資格を有する臨床検査技師が内視鏡検査の補助業務を行う。		
	超音波検査	産婦人科外来で臨床検査技師が妊婦の超音波検査を実施する。		
	検査レポートの作成	生理検査・超音波検査のレポートは臨床検査技師が測定値や画像所見を記載し、医師は結果を確認して最終レポートを作成する。 細胞診のレポートは細胞検査士が所見を記載して、病理医が最終的に診断する。		
診療放射線技師との役割分担				
	撮影オーダー	撮影部位の確認・検査オーダーを代行入力する。		
	造影検査	造影検査時の造影剤の投与、投与後の抜針を行う。		
臨床工学技士との役割分担				
	医療機器の中央管理	臨床工学士が医療機器のメンテナンスと管理を行う。		
		病棟呼吸器装着患者に対して定期的な機器設定管理と安全管理を行う。		
管理栄養士との役割分担				
	入院食事オーダーと調整	医師の指示に基づき、管理栄養士により個々の栄養管理計画による食事を提供する。 管理栄養士は疾病、栄養状態、嚥下状態に合わせた食事内容の変更に関して医師に助言する。看護師と相談し、必要な方に食事介助を行う。		
	栄養指導	医師の指示に基づき、管理栄養士が栄養指導を行う（外来、入院）。		
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士との役割分担				
	実施計画書の作成・説明・交付	医師の最終確認（又は署名）を条件に、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士それぞれが実施計画書を作成する。医師の最終確認（又は署名）後に、患者へ説明し、書類を交付する。		
	リハビリの送迎	リハビリの送迎を理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が行う。		
看護師と他職種との役割分担				
	ベットメイキング	患者退院後の空きベット及び離床可能な患者のベッドメイキングは看護補助者が行う。		
	患者の検査室への移送	患者の状態に問題がない場合においては、看護補助者が率先して移送を行う。		
	入院患者への食事の配膳	栄養管理部門が主となって配膳を行う。		
	入院患者の食事介助	食事介助は主に看護師が行っているが、介護福祉士・看護補助者も協働して介助を行う。		
	患者情報入力と書類の搬送	病棟クラーク・アシスタントが入院の準備、カルテ整理、患者情報の電カルへの入力と書類の搬送を行う。		
	物品点検	看護補助者がベッド、ストレッチャー、車椅子の点検を行う。		
	診察室、予備室の準備	外来アシスタントが診察室、予備室の環境整備、物品の補充を行う。		
その他の役割分担				
	物品の補充・搬送	予定の補充・搬送に関しては物流部門が行う。緊急の搬送を要する際には看護補助者が対応する。		